

大谷大学博物館二〇二六年度特別展

Suru 摺る
Osu 捺す
Utsusu 写す
文字の諸相

Orani University Museum 2026 Special Exhibition
Print, Stamp, Copy: Expressions of Written Characters



2026
10.10sat-11.28sat

開館時間：10:00-17:00（入館は16:30まで）

休館日：日・月曜（ただし10/12㊤、11/15㊤・22㊤・23㊤は開館）

観覧料：一般・大学生500円

以下の方は、無料とさせていただきますので、受付にお申し出ください。

- 本学学生・教職員・同窓生
- 障がい者手帳をお持ちの方および介助者の方（1名）
- 70歳以上の方で年齢がわかるものをご提示いただける方

主催：大谷大学博物館 後援：真宗大谷派（東本願寺）、京都府、
京都府教育委員会、京都市、京都市教育委員会、
京都市内博物館施設連絡協議会、エフエム京都

重要文化財 化度寺故僧遍禪師舍利塔銘（宋拓）（部分） 大谷大学博物館
華嚴十重唯識瑞鑑記 巻第一（部分） 大谷大学博物館
駝鈕銅印「漢匈奴思適尸逐王」 大谷大学博物館

大谷大学博物館
Orani University Museum



京都・大学ミュージアム連携
University Museum Association of Kyoto

摺る・捺す・写す

文字の諸相

古来、中国・朝鮮半島・日本など東アジアの漢字文化圏では、漢字を中心とする文字が用いられてきました。公的・私的な文書、経典、石碑、文学作品、日記などの文物は、文字によって表わされてきたのです。そしてこれらの文字は、印刷物として摺る、紙の上に墨で書く、石碑に碑文として刻む、刻まれた文字を写す、印章に文字を刻んで捺すといった、さまざまな表現方法がなされ、それぞれ版本、写本、拓本、印影などとして残されています。また、文字は言葉を表すための記号ですが、同時に「書」そのものの美しさが大切にされ、鑑賞の対象となることもありました。

大谷大学博物館には、こうした文物が数多く所蔵されています。とりわけ、大谷大学第十三代学長をつとめ、東洋学者でもあった大谷瑩誠氏旧蔵の禿庵文庫、大谷大学教授や京都国立博物館長などを歴任した神田喜一郎博士旧蔵の神田コレクションなどには、貴重な文物が多く含まれています。なかでも欧陽詢の筆として有名な化度寺故僧邕禅师舍利塔銘や薛稷の筆を伝える信行禅师興教碑の宋拓本などはよく知られています。

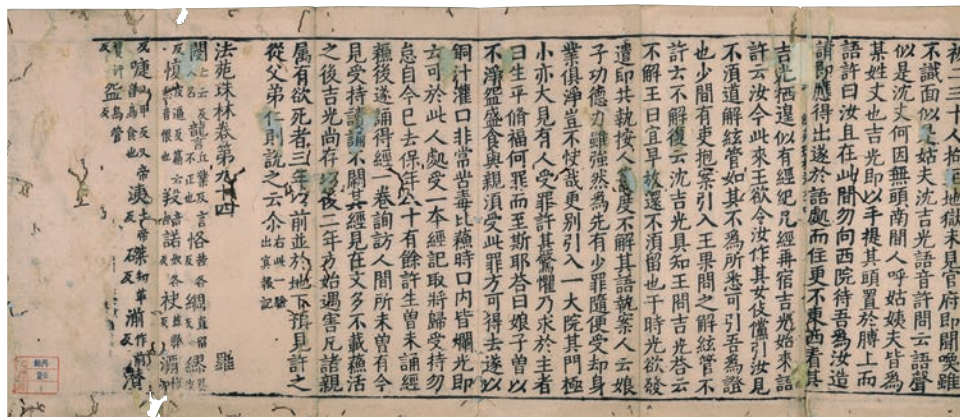
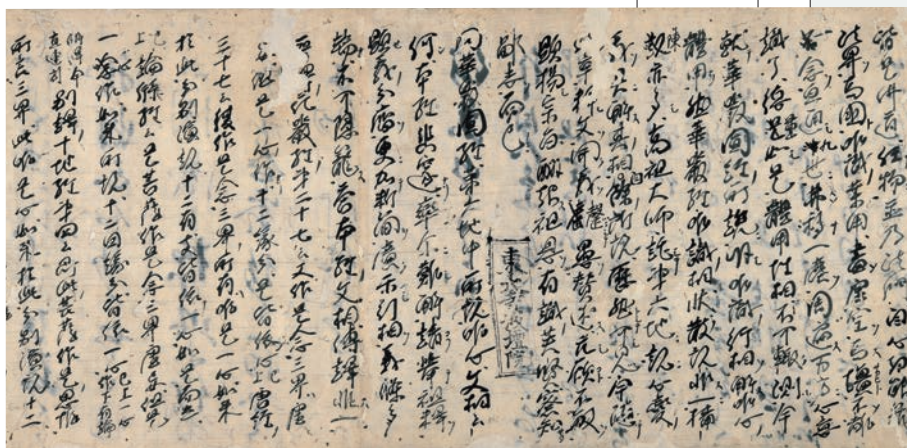
本展覧会では、大谷大学所蔵の作品を中心に、他機関と所蔵の関連作品とともに、摺る・捺す・写すという形で、表現された文字の魅力をご紹介します。

Otani University Museum
2026 Special Exhibition

Print, Stamp, Copy:
Expressions
of Written Characters



- ①鹿紐銅印「念仏長者」（伝天海僧正所用）
大谷大学博物館
- ②蛇鈕銅印「漢匈奴惠通戸逐王」 大谷大学博物館
- ③重要文化財 化度寺故僧邕禅师舍利塔銘（宋拓）
大谷大学博物館
- ④翁覃溪手摹化度寺碑底本 大谷大学博物館
- ⑤華嚴十重唯識略記 卷第一（部分）
大谷大学博物館
- ⑥法苑珠林 卷第九十四（思溪版）（卷末）
大谷大学博物館



大谷大学博物館
Otani University Museum

〒603-8143 京都市北区小山上総町 響流館1F
Tel.075-411-8483 Fax.075-411-8146
https://www.otani.ac.jp/kyo_kikan/museum/

- 地下鉄烏丸線「北大路」下車、6番出口すぐ
- 市バス「北大路バスターミナル」、「下総町」、「烏丸北大路」下車
- 駐車場はございませんので、お車での来館はご遠慮ください。
ただし、身障者用の車の場合は事前にご連絡ください。